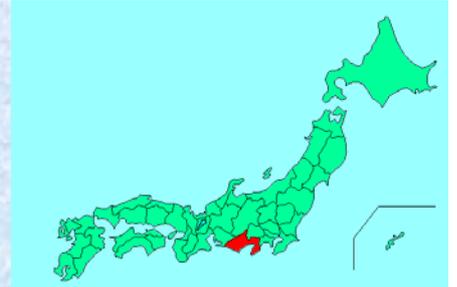




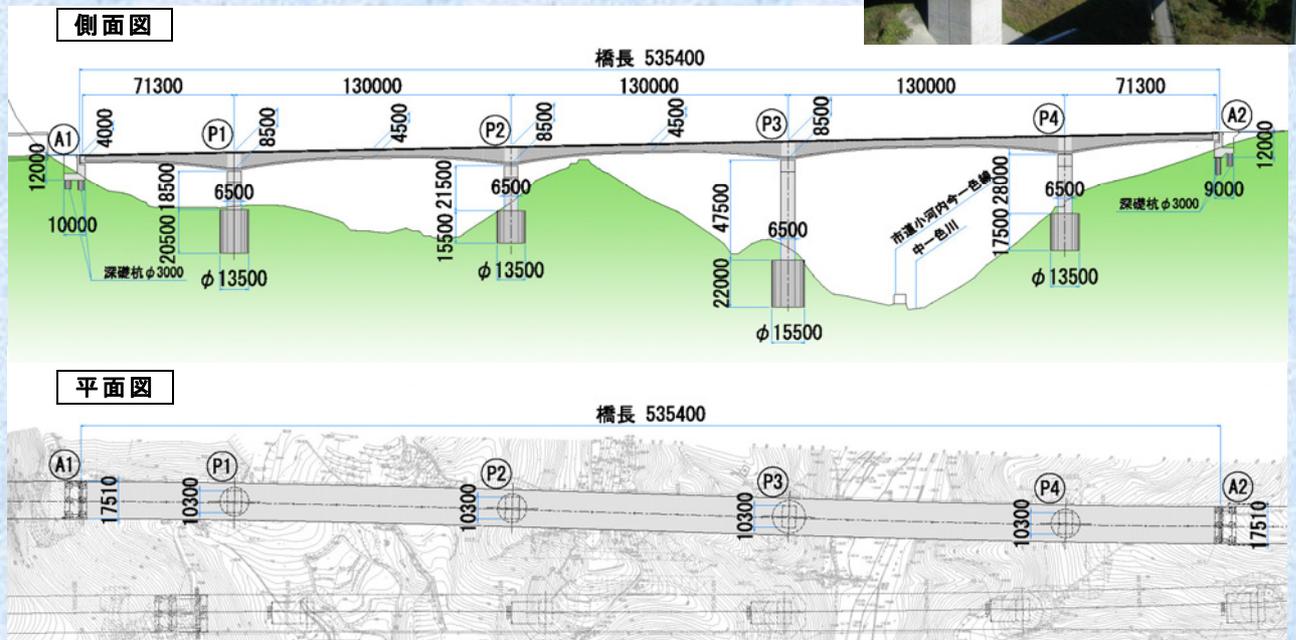
なかいっしきかわばし 中一色川橋

中一色川橋は、第二東名高速道路の清水IC（仮称）と吉原JCT（仮称）の間に架橋される橋長535.4m、最大支間長130mの5径間連続波形鋼板ウェブ箱桁橋です。

本橋は、波形鋼板を架設材として利用するRapCon/RW工法を幅員11室箱桁断面（全幅員17.43m）に適用して、現場施工の省力化、急速化を図っています。



◆一般図



◆橋梁諸元

工事名：第二東名高速道路中一色川橋（PC上部工）上り線工事

発注者：中日本高速道路(株)東京支社

設計者：三井住友建設(株)

位置：静岡県静岡市清水区小河内

道路規格：第1種1級A規格

形式：PC 5径間連続波形鋼板ウェブ箱桁橋

荷重：B活荷重

橋長：535.4m(71.3m+3@130.0m+71.3m)

総幅員：17.43m（有効幅員16.50m）

架設工法：張出し架設工法

PC鋼材：主鋼材：SWPR7B 12S15.2（ディビダーク工法：内ケーブル）

SWPR7B 19S15.2（ディビダーク工法：外ケーブル）

SWPR19 1S28.6（SM工法：プレグラウト鋼材）

横締：SWPR19 1S28.6（SM工法：プレグラウト鋼材）

断面図

